

アメリカがゴールドラッシュに沸いた一八五〇年代、過酷な労働に耐える丈夫な作業着として生まれたジーンズ。今では世界中の人々に愛用され、若者文化を象徴するファッションの一つです。ジーンズのシエービング(削り)と洗い加工を手がけて二十年になる三本木地域鉄炮町地区にある(株)三松商会。代表取締役の土田政見さんは、日本のジーンズ文化草創期から、四十年もジーンズの洗い加工にたずさわってきた大ベテラン。現在は、世界的ジーンズメーカーの製品を手がけ、自然な色落ちやほつれ、シミ、汚れ、ボタンのさびまでも再現する独自の加工により、長年はきこんだ古着のような風合いのジーンズを量産する世界屈指の技術と品質を誇ります。

「ファッションは感性と新しさが常に求められる。ここで開発したのも、流通すればすぐに真似されてしまうから、毎日が新しいサンプル作りとの戦い」と、ジーンズを愛する若いスタッフと日々の研究を欠かしません。「デニムは生き物。一つ一つ違う性質があり、その性質を見極めるために手抜きは一切許されない。他と同じものは作りたくないし、他には絶対負けたくない。」と熱い気持ちを話してくれました。

妥協を許さない職人魂と、自分たちが業界を引っ張っていくんだという強い気持ち。土田さんの言葉から、ものづくりへのこだわりと奥深さを感じました。



ジーンズ一筋 40年の土田さん

**絶対ほかには 負けたくない**

(株)三松商会 土田 政見さん  
(三本木・鉄炮町)



▲試行錯誤を繰り返し、サンプルをつくります。まるで本物の古着のような風合い。



このコーナーでは、誰かにすすめなくなる伝統工芸や物産など、大崎市自慢の逸品を毎月一品ずつ紹介していきます。3回目は、鳴子温泉地域の、地発泡酒「鳴子の風」です。



鬼首の自然の恵みをうけ 作り出される地発泡酒

**鳴子温泉地域発 【鳴子の風】**

**鬼首**の美しい上質の水を使用し、地元の素材をふんだんに使い丹精込めて作られる、地発泡酒「鳴子の風」。

平成十一年七月に創業した鬼首地区吹上高原にある「鳴子温泉ブルワリー」では、鳴子の美味しさを、高原ラガー、山ぶどう、ブルーベリーなどの個性溢れる発泡酒にしています。

インターナショナル・ビアコンペティション金賞など、数々の賞を受賞した「鳴子の風」。高原ラガーは口当たりの軽いピルスナータイプで、大麦を発酵させた麦芽をふんだんに使用した正統派ラガー発泡酒。さわやかな酸味と渋みが特徴のブルーベリーと、ほんのり甘めの山ぶどうは、その色も美しく、ワインやカクテルのような飲み口で、ビールが苦手な人や女性にもお



▲吹上高原にある「鳴子温泉ブルワリー」

勧めです。

工場にはレストランも併設されているので、高原の風景と、吹き渡る風を肌で感じながら、いつでも出来立ての新鮮な味を楽しむことができます。

お勧めなのは味だけではなく、ラベルには鳴子峡や温泉街などの鳴子温泉地域の観光名所が描かれていて、センスの良さが光ります。また、東鳴子温泉のオリジナルラベル「御殿湯浪漫」も登場し、鳴子温泉を感じる商品としてお土産や贈り物にもお勧めです。

鬼首・吹上高原で緑の風と太陽の恵みを受け作り出される地発泡酒「鳴子の風」。

この夏、ぜひご賞味ください。ひと口飲めば、さわやかな高原の風を感じられるはず。



▲その味はお墨付き。